



Kia Ora [キア・オラ]

畠山 寛子

HATAKEYAMA HIROKO

1976年 兵庫県出身
2006年 石垣島へ移住
2015年 柏崎市へ移住

✉ kiaora.work@gmail.com

今年も「2020冬の音市場」が開催される。今年の冬オトイちはアルフォーレの大ホールでフォークやロックのバンド音楽、フォルクローレやダンスも加わり華やかなステージに。2日目はジャズやクラシック、ラテン、ゴスペルのライブに加え、「阿賀に生きる」の映像を交えながら、作曲家でありギタリストだった故経麻朗氏に捧げるステージとなる。

今回の音市場ではデザインも一新。パンフレットやチケットの制作、デザインを担当したのが、Kia Ora (キア・オラ) の畠山寛子さんだ。キア・オラとはマオリ語のこんにちは、という意味の語から名付けられた。

畠山さんは兵庫県神戸市垂水区出身。震災が起きたのは高校3年の時だった。大阪の専門学校入学のためアパートの契約をして自宅に戻った翌朝に地震が発生。自宅も家族も無事だったことは何よりだったと振り返る。

専門学校卒業後は大阪や京都などでデザインの仕事に携わった。20代の頃から旅行で何度か訪れていた石垣島に魅了され、畠山さんは仕事を辞め、30歳

の時に移住した。

石垣島では、シュノーケルツアーのショップを経営していた友人のところで居候しながらガイドの手伝いをしていた。そのうちに知り合いからデザインの仕事を頼まれるようになり、フリーランスで仕事を始めたという。

その後、石垣島で結婚。夫が柏崎市出身だったことから5年前に1ターンで柏崎へ移住した。

住み始めてから半年間は石垣島や沖縄でのデザインの仕事を主にやっていた。柏崎での生活に慣れてくると次第に地元での仕事も増えてきた。今回の音市場のパンフレット制作は、音市場にも出演するフラダンス「ハーラウ・フラ・オ・リハウ」に娘が習っているというご縁から始まっている。

畠山さんは他にも、友人の猪俣優さんと共同で「necca」というブランドを立ち上げ、国産の帆布を使ったトートバッグの販売も手掛けている。猪俣さんが製作し、畠山さんが生地のカラーオーダーを受け、ネット販売に関する業務を行う。2年前には友人と共に「いこねいち」というイベントも手掛けたという行動力の持ち主だ。

今、目指しているのはアートセラピー。様々な素材を使ったり、描いたりしながら自由に表現することで心を開放したり整理する心理ケア。畠山さんは1年かけてアートセラピストの資格を取得。今度はアートカウンセリングの手法も学び、ワークショップやイベントで生かしていきたいと考えている。

| | |
|--|---|
| <p>音市場 KASHIWAZAKI SOUND MARKET 2020 2.8±-2.9日 15:00~ 11:00~</p> <p>会場 柏崎市文化会館 アルフォーレ大ホール 2日間共通チケット 前売 1,500円 (当日: 2,000円) *高校生以下無料</p> | <p>音市場 KASHIWAZAKI SOUND MARKET 2.8sat-2.9sun 15:00~ 11:00~ 2日間共通チケット 前売 1,500円 (当日: 2,000円) *高校生以下無料</p> |
|--|---|